



前列左からリハビリテーション科係長・元田、同科長・白川、後列左より主任・入江、同・小川、同・峠

C O N T E N T S

- 2-3 巻頭言 インドネシア訪問紀行
- 4 リハビリテーション科からのお知らせ
- 5 栄養管理科からのお知らせ
- 6 診療実績
- 7 医療法人悠紀会からのお知らせ

基本理念 皆さまの健康で豊かな生活を支えるために、信頼される真心のサービスを提供します。

- 基本方針**
- 1、社会的役割・・・信頼される医療サービスを提供し、地域住民の健康で豊かな生活に貢献します。
 - 2、利用者さまの尊厳と権利の尊重・・・利用される方々の尊厳と権利を尊重した医療サービスを提供します。
 - 3、快適な環境・・・希望をもって豊かな生活を送ることができる環境づくりをめざします。
 - 4、チーム医療・・・全人的・総合的最善の医療サービスを提供する為に「チーム医療」を実践します。
 - 5、豊かな専門性・・・スタッフの人格形成はもとより、高度な専門知識の習得や技術の向上に努めます。

巻頭言

インドネシア 訪問紀行

医療法人悠紀会
理事長 反後敏夫

今回、昨年の8月7日から15日まで、5名の職員と共に9日間の日程でインドネシアを視察訪問した報告をさせていただきます。

最初に、なぜインドネシアに行ったのかと申しますと、インドネシアの日本語学校（技能実習生、特定技能養成校）との業務提携を結ぶ為の話に伺いました。

将来の日本の介護現場は慢性的な人手不足が予測され、高齢化に伴う介護サービス増に対して職員確保が追い付きそうにない現状です。



2040年には全国で介護職員が69万人不足するとの厚生労働省の推計が出ており、これを熊本県に置き換えた場合は約8千人が不足することになります。国内の現状は介護の求人を出しても反応が鈍く、介護の専門学校を志望する学生も少なくなり、定員に満たない学校も多く見受けられます。介護保険が始まった当初は養成校や専門学校が続々と開校し、多くの学生が介護福祉士という国家資格を取得して介護現場に巣立っていました。現在では学校に求人を出しても採用は困難な状況です。

当法人におきましては、お陰様で何とか介護職員は充足しておりますものの、こういった背景や将来を見据えて、介護職育成プロジェクトを立ち上げました。理念・目標として「未来の介護人材は悠紀会で育成していく！そして介護の未来を変えていく！」を掲げ、その具体的な方策として海外ルートと国内ルートでの職員育成を計画した次第です。今回、インドネシアに行って強く印象

に残ったことは、特に若い人が多くてエネルギーシユな国だと感じました。日本の昭和30年代頃でしょうか、我が国と比較しますと、日本の人口約1・2億人に対して約2・7億人、日本の平均年齢46歳に対し29歳です。これから更に発展し伸びていく国だと直感しました。



日本語学校の訪問は、首都ジャカルタに到着後からスバンやタンゲラにある学校を数日間かけて見学させてもらいました。それからジョグジャカルタでの視察を経てバリに移動し、介護専門の学校建設現場を見学させてもらいました。この学校が開校しますと悠紀会から講師となる職員を派遣する予定にしております。近い将来には悠紀会の職員が教えた優秀なインドネシアの人材が玉名の地に来られることになり、しいては荒尾・玉名地域の介護現場を支えていくことも期待しております。

なお、人材確保も重要ですが、それと同じくして介護職の魅力、やりがい、存在価値を多くの人に再認識して頂くことも重要と思っております。そこで悠紀会では、

「頑張っている介護職員」にスポットを当てたプロモーションビデオを作成致しました。「大学や専門学校を卒業して介護福祉士として勤務している職員」、「介護は初めてで

すと言って勤務しながら介護福祉士を取得して頑張っている職員」、「子供を育てながら家庭と両立させて頑張っている職員」などが居ります。当ページに動画のQRコードを掲載しておりますので是非ご覧になっていただくと幸いです。改めて動画を観てみると職員の皆さんは良いことを言っております。「職場で『ありがとう』と感謝の言葉を頂くとこの仕事を選んで良かった。」「人のために役に立ったとやりがいを感じる。」「また自分が育った地域へ恩返しをしたい。」「職場は人としての修養の場である。」「仲間が居て、楽しく励まし合って成長できる。」等、このように頑張っている職員が悠紀会にはたくさん居ることに私は感謝



し、誇りに感じます。そして、これからも地元の若い人たちが少しでも介護職に興味を持ってもらい、先輩たちの後に続いてもらいたいと思っております。

プロモーション
ビデオは
こちらから！



リハビリテーション 運動機器のご紹介



今号では、「脳卒中等の脳血管疾患」や「整形疾患」等による上肢運動機能障がいのある方へのリハビリテーション支援を目的とした機器についてご紹介します。

まず下記の機器は、電気・振動刺激を併用しながら上肢(肩・肘)の運動をサポートする目的で使用します。筋力の弱い方でも反復運動が可能となるなど、効率的にリハビリテーションが提供できるとともに、患者さんと療法士双方の負担も軽減できるメリットがあります。



腕の重みを補助し、思った方向に無理なく動かせるよう手助けします。

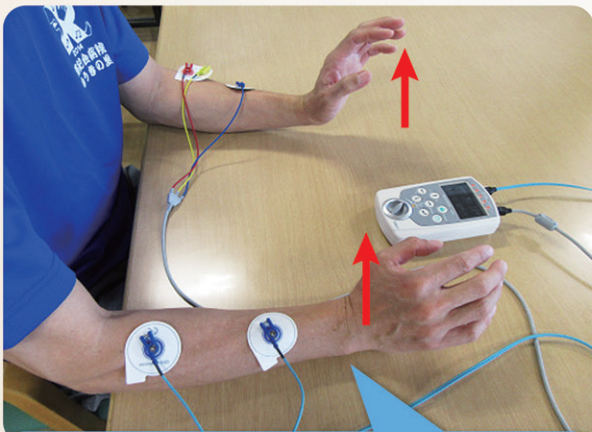
電気・振動刺激により筋収縮等の動きを促して、目的とする運動をしやすくします。

機器を使用することで、無理なく、痛みを強くしないように運動ができます。

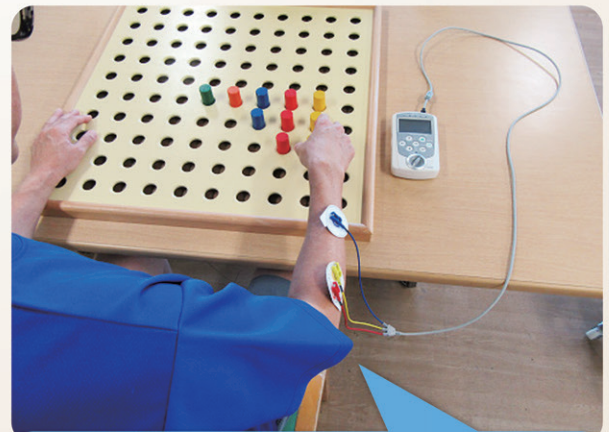


上肢リハビリ装置 CoCoroe AR2

下のIVES (随意運動介助型電気刺激装置) も以前から脳卒中後の片麻痺治療に積極的に使用しています。IVESは、電気刺激により麻痺した筋肉の収縮を促す機器で、他動的な筋収縮から補助的な筋収縮へ移行し、最終的には日常生活で“使える手”になることを目標としています。



右手を動かす刺激で麻痺側の左手を動かす治療です！
右手首を上げると、左の手首が上がってきます。



麻痺により指が開きにくい状態の治療です。
ピンを板に刺そうとする際の指の動きを機器が受信し、指が広がるよう電気刺激が流れます。

今回ご紹介したこれらの機器・装置は、治療の過程により様々な使用方法や活用がありますが、大切なことは、他の治療と併用しながら患者さんの力を最大限に引き出せることです。悠紀会病院では、これからも患者さんファーストで機能回復の可能性を広げ、家庭や社会復帰の支援に取り組んでいきます。

春の紫外線対策



少しずつ温かい日も増え始める春先は、紫外線量がぐんぐん上がる時期でもあります。今回は、紫外線のリスク・肌への影響や紫外線対策に効果的な食品をご紹介します。

《 日常に潜む紫外線のリスク 》

日 陰

地面などに反射した紫外線は、日陰でも直射光の50%程度の影響があります。



曇りや雨の日

薄曇りは晴天時の80~90%、曇りは約60%、雨でも約30%の紫外線量を受けます。



室内・車内

シワやたるみの原因となる紫外線「UV-A(紫外線A波)」は、ガラスを通過します。



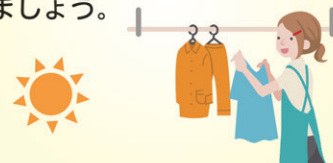
近所への買い物

建物の中での買い物は安心ですが、行き帰りは紫外線に注意が必要。



洗濯物干し

少しの間なら影響が少ないと思いがちですが、洗濯物を干す数分間でも紫外線対策をしましょう。



マスク着用時

マスクで顔が隠れるからとUVケアをおろそかにすると、肌にマスクの日焼け跡が残る事も。



《 紫外線による肌への影響 》





《 紫外線対策に効果的な栄養素や食品 》

抗酸化作用をもつビタミンを食事に取り入れると肌の内側からケアができます。

ビタミンA	人参、南瓜、ほうれん草、鶏肉、うなぎ	免疫力を高め、肌荒れの予防効果がある。
ビタミンC	ピーマン、いちご、キウイ 	コラーゲン生成。肌のハリや弾力を作る。
ビタミンE	アボカド、アーモンド、ゴマ	メラニンを排出し、シミ、ソバカスの生成を防ぐ。

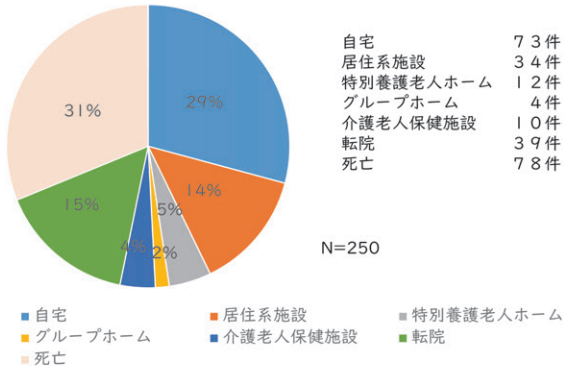
ビタミンと一緒に摂取すると活性酸素を除去し、皮膚や体内の抵抗力を高めます。

カロテノイド	トマト、鮭、ブロッコリー 	日焼け予防・日焼け後の回復に効果的。
ポリフェノール	大豆、大豆製品、緑茶、生姜 	抗酸化作用に優れ、肌のダメージを保護する。

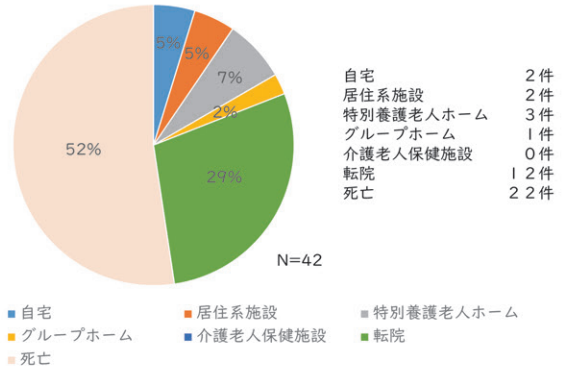
これらの栄養を積極的に摂り、早めに対処することで皮膚の正常化に繋がります。

診療実績

2022年度 病院転帰先割合



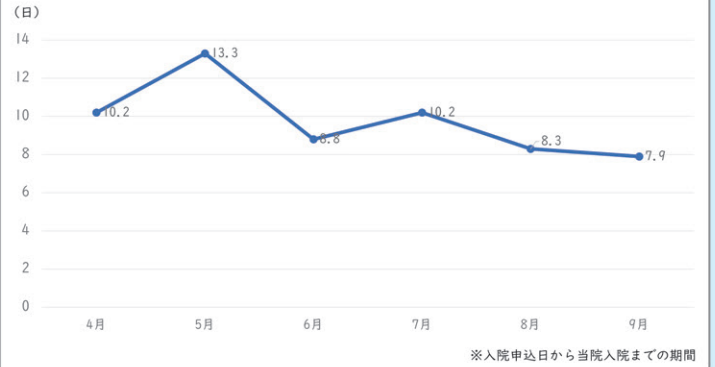
2022年度 介護医療院退所先割合



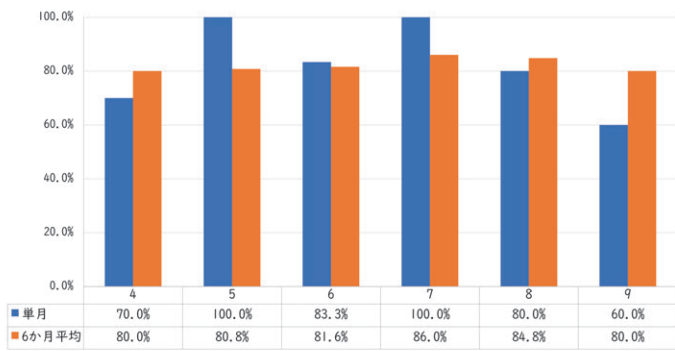
2023年度 稼働率(介護医療院含む)



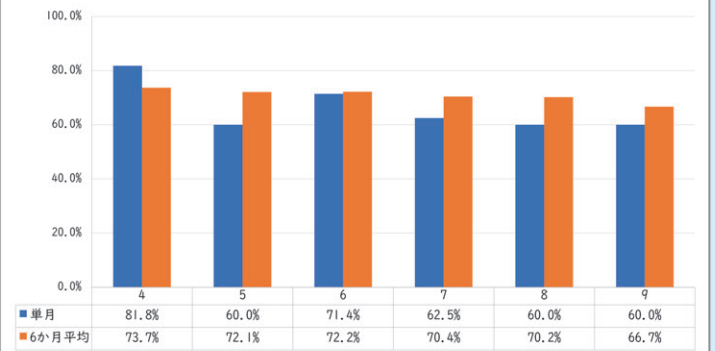
2023年度 入院待機者日数推移



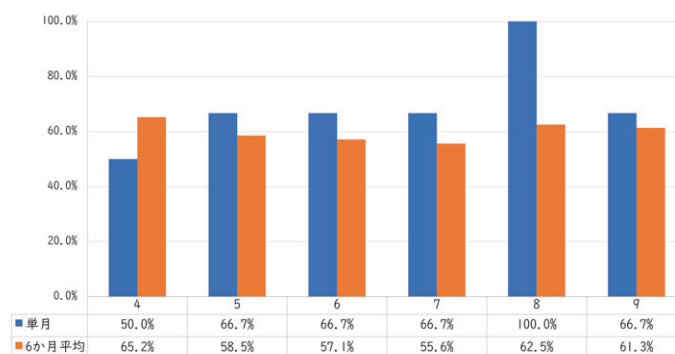
2023年度 回復期リハ病棟 在宅復帰率



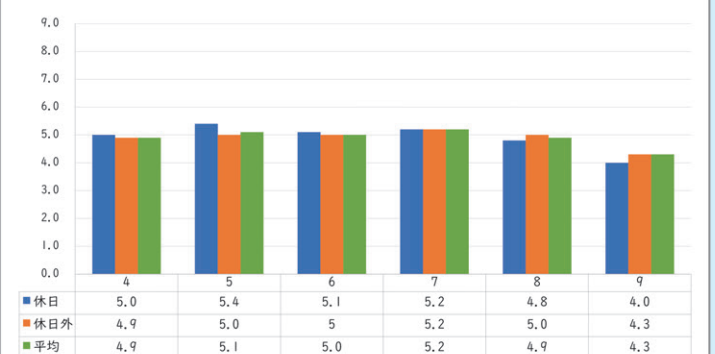
2023年度 回復期リハ病棟 入院時重症者割合



2023年度 回復期リハ病棟 退院時重症者の改善割合



2023年度 回復期リハ病棟 リハ実施単位数



・悠紀会のトピックス・

緊急救命訓練を 実施しました

当院では、院内の場所を問わず、患者さんだけでなくご家族や職員等の急変や心停止、呼吸停止等の緊急事態に速やかに対応できるよう、ハートコール訓練と称した緊急救命訓練を実施しています。

今回は、リハビリテーションルームで倒れている人を発見するという設定で、発見のコールから速やかに職員が集まり、心臓マッサージやAED対応等、一連の流れに沿った対応を行いました。振り返りの中では、参集した職員から「実際の場面ではもっと慌てると思うので、日ごろからの意識と準備が改めて大切であり、今後もトレーニングを積みたい」との声がありました。



介護医療院 ゆうきの里たより

介護医療院では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が入所者さんの状態に合わせて体力の維持、食事を安全に食べる、寝たきり防止などの目標を立て、日々の生活がより良く過ごされるようお手伝いしています。また、玉名地域の「通いの場(地域の公民館)」に赴いて体力測定や健康体操を支援する活動も行っています。私たちは専門職として、これからも入所者さんやご家族、地域の方々の支えになれるよう頑張ります！



左から作業療法士(白川)・理学療法士(猿渡)・言語聴覚士(峠)



地域連携部からのお知らせ

悠紀会病院の **在宅支援サービス** について **ご紹介**



悠紀会病院では、在宅の方に向けた医療サービスも広く行っております。専門医や各種療法士が在籍しており、皆様の在宅生活の一助となるよう取り組んでおります。詳しい内容や利用に関してもお気軽にお問い合わせください。内容等に応じてソーシャルワーカーや担当スタッフが対応します。

1 悠紀会病院の外来

当誌の裏表紙に「外来診療担当医表と診療科等」を掲載していますのでご参照ください。身近な地域のかかりつけ病院としてもご利用できますので、お気軽にお尋ねください。

2 外来リハビリテーション

通院という形で専門の療法士がリハビリテーションを行います。当院がかかりつけではなくても主治医の先生からのご紹介や直接のご相談も可能です。対象となる疾患や病気やケガをしてからの期限等もありますので、ご希望の場合はお早めにお問い合わせください。

3 訪問リハビリテーション

介護保険事業の指定を受けており、担当の介護支援専門員(ケアマネジャー)やかかりつけの先生からのご紹介、直接のご相談も可能です。専門の療法士がご自宅の環境やお体の状態、生活に合わせたリハビリテーションを行います。

外来診療担当医表

診療時間【午前9:00～午前12:00(受付午前11:30まで)、午後1:30～午後5:00(受付午後4:30まで)】

診療科	月	火	水	木	金
内科	紫藤 忠博	高木 和男	松村 利昭	高木 昭宏 紫藤 忠博	
循環器内科			古森 顕一		古森 顕一
リハビリテーション科		伊勢 紘平 (整形外科)			
脳神経内科		井手 正美	井手 正美		

診療科

●内科 ●リハビリテーション科 ●循環器内科 ●脳神経内科 ●歯科(予約制)

相談、その他

● 外来・訪問リハビリテーション相談 ● 摂食嚥下相談 ● 整形外科相談

病棟構成

入院病床数 139床

回復期リハビリテーション病棟	32床
医療療養病棟(3階)	50床
医療療養病棟(4階)	57床

診療設備

マルチスライスCT撮影装置
X線テレビ装置
一般用X線装置
PACS(医用画像管理システム)
超音波診断装置
心電図モニター
生化学自動分析装置
感染症遺伝子解析装置(新型コロナウイルス検査装置:ID NOW)

関連事業所

- ◆訪問リハビリテーション 悠紀会病院(悠紀会病院併設)
- ◆介護医療院 ゆうきの里(悠紀会病院併設)
- ◆介護老人保健施設 ゆうきの里(悠紀会病院併設)
 - ・ゆうきの里 通所リハビリテーション
 - ・介護相談センター ゆうきの里(居宅介護支援事業所)
- ◆玉名脳神経外科医院(玉名市岩崎11-1)
- ◆グループホーム ゆうきの家(玉名市上小田1180)
- ◆小規模多機能ホーム ライフサポートいわさき(玉名市岩崎762-2)
- ◆小規模多機能ホーム しいの木の里(山鹿市鹿本町来民1135-1)
- ◆社会福祉法人ゆうき会
 - 特別養護老人ホーム ケアタウン光の森(菊陽町津久礼3002-1)

アクセス

悠紀会病院



〒865-0011
熊本県玉名市上小田1063番地
TEL 0968-74-1131 FAX 0968-74-3821
ホームページ <http://www.yukikai.or.jp>



各種相談については、地域連携部へお尋ねください。

TEL 0968-74-1131

※お電話による問い合わせは、月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとなっております。